

指定管理者の期末モニタリング

施設名	宮代町立図書館	年度	令和6年度
指定管理者	株式会社図書館流通センター	担当課	教育推進課
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	期別	第3期
施設の目的	図書その他の資料提供を中心とする活動によって、町民の文化・教養・調査・研究・レクリエーション等に資することを目的とする。		
業務の内容	生涯学習及び情報提供の拠点施設として、「第2次図書館ビジョン」の実現に向けた図書館業務を実施する。		

総合的な評価

【総合評価】 A優良 0 B適正 14 C改善 0

図書館ビジョンに掲げられた目標像を踏まえ、専門事業者としてのノウハウや組織力を活かし、図書の収集・貸出、行事開催、施設管理などのサービスを適切かつ効果的に実施していると認められ、その成果は利用者アンケート等の結果からも確認できる。

また、令和6年度には、図書館開館30周年記念事業として講演会や大人と子どもが一緒になって楽しむことが出来る企画に加え、電子図書館の利用促進の一環として体験会を実施するなど、課題への取組も評価できる。

一方で、利用者アンケートでは、図書館運営の総合的な満足度については8割以上が満足と高い回答を得ているものの、電子図書館や蔵書検索サービスといったインターネットを活用したサービスに対する認知度が低調である。今後も利用者の声に耳を傾けながらニーズに沿った業務改善への取組を進めるとともに、利用者に対するわかりやすいサービス案内にも努めていただきたい。

【評価事項】

- ・新規の利用登録者の獲得に向けた「らんどせるブック」や宮代高校・日本工業大学新入生に向けた図書館利用案内の実施
- ・図書館開館30周年記念事業の実施
- ・電子図書館の利用促進に向けた体験会の開催

【改善事項】

- ・施設設備、環境の向上
- ・利用者満足度のさらなる向上(利用者アンケートや窓口等での聞き取り結果の業務反映を含む)
- ・電子図書館や蔵書検索(WEB OPAC)などインターネットサービスのさらなる利用促進

1. 施設の管理運営・事業

評価 B 適正

入館者数や資料貸出数等に減少がみられるが、新規登録者数を含めその他の数字に伸びが見られる。中でも電子書籍の貸出数は前年比128%となっている。貸出数の面から見ればまだまだPRの余地があるため、今後も引き続き体験会などを通して利用者への周知に力を入れて欲しい。

また、行事参加者数では、子供向けの月例行事に落ち込みが見られるものの、「ライブラリーシアター」や「ナクソスミュージックライブラリーコンサート」においては前年比130%以上となり、利用者から好評を得ていることが伺える。

- 開館日数:289日(R5年度:291日)
- 入館者数:119,252人(R5年度:125,091人)※対前年比:95%
- 新規登録者数:692人(R5年度:681人)※対前年比:102%
- 貸出者数:69,084人(R5年度72,145人)※対前年比:96%
- 資料貸出数:232,720点(R5年度249,202点)※対前年比:93%
- 電子書籍の貸出数 398点(R5年度:310点)※対前年比128%
- AV館内利用数 1,064点(R5年度:968点)※対前年比110%
- 行事参加者数:3,106人(R5年度:2,900人)※対前年比:107%

2. 利用者の公平確保

評価 B 適正

利用登録、図書及び有料施設の貸出等は、条例及び規則に基づき適切に実施されている。

3. 職員の配置、研修等	評価	B 適正
人員は計画書に則った組織体制を維持している。 スタッフの接客に関しても、利用者アンケートにおいて例年高い評価を得ており、特にレファレンスコーナーや特集展示コーナーは好評である。		
4. 施設の維持管理業務(清掃、植栽管理など)及び保守点検	評価	B 適正
事業計画に基づき適切に管理されている。引き続き適切な管理に努めていただきたい。		
5. 施設の修繕	評価	B 適正
事業計画に基づき適切に実施されている。開館から30年を経過し、経年劣化が進行してきていることから、引き続き定期的な点検を行うとともに、必要な修繕や更新を行うなど、適切な維持管理に努めていただきたい。		
6. 備品管理	評価	B 適正
図書館の什器備品については適切に管理されている。		
7. 安全・危機管理	評価	B 適正
消防法に基づき、防火管理者の配置、消防計画の作成、避難訓練を適切に実施している。 また、地元警察とも連携を図り、お客様に安心して利用いただける環境の確保に努めている。		
8. 個人情報の管理	評価	B 適正
個人情報の取り扱いについては、本社から派遣される監査員の監査を定期的に行っており、適切に履行されている。 また、図書館システムのクラウド化(平成27年度実施)によって、利用者情報等のセキュリティ強化が図られている。		
9. 利用者ニーズの把握・反映	評価	B 適正
図書館協議会委員や図書館ボランティアからの意見聴取のほか、毎年度末に利用者アンケートを実施し利用者ニーズの把握に努めており、利用者の声を適宜反映している。		
10. 自主事業の実施	評価	B 適正
・月例行事及び季節行事ともに事業計画に基づき実施できている。 ・絵本の会や紙芝居など一部の行事では、前年よりも参加者数が減少しているが、ライブラリーシアターやナクスミュージックライブラリーコンサートは30%以上の伸びを記録している。 ・食育展や認知症合同展など、行政や大学、社会福祉協議会などとの産学官連携による取組は、図書館の新たな魅力として積極的な展開を期待している。 ・開館30周年行事においては、かつて百間中学校で教鞭をとられた田中信秋氏による万葉集をテーマにした講演会や大人と子どもが一緒に参加できる映画会と絵本の会(ニコニコ大会)を開催し、多くの方が来場。新聞にも取り上げられている。		
11. 経費節減	評価	B 適正
経費節減の努力は年間を通して励行されている。一方で、社会情勢の変化や円安による燃料価格の高騰を受け、光熱費の負担増は避けられないため、業者の見直しや委託内容の精査など取り得る限りの対策を引き続き期待している。		
12. 環境への配慮	評価	B 適正
ごみの分別や節電など適切な配慮を行っている。		
13. 利用者への情報提供	評価	B 適正
HPやX(旧Twitter)にて情報発信に努めている。今後は、人気行事の報告やその他事業のさらなる認知度の向上に向けてより一層積極的な情報発信に期待する。		
14. 会計管理	評価	B 適正
会計管理については、指定管理者(本社)の会計担当により適切に実施されている。		